



宮司プレス百二十五号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十九年 七月 十八日

◇宮司の柴田です。梅雨も明けたと思わせるような、うだる暑さの毎日です。私が、幼いころの梅雨は、しとしとと降り続き、じめじめしたうつとしい天候であったように記憶しています。しかし、当初は、空梅雨かと思いきや、九州を襲った豪雨にも象徴されませんが、彦島にも避難勧告が発令されたりと極端な天候です。九州地方に甚大(じんだい)なる災害、神様も仏様もないような被害をもたらした豪雨、線上降水帯(せんじょうこうすいたい)の発生によるものだそうです。線上降水帯は、同じ場所で積乱雲が次々と発生して帯状に連なる現象で、数時間にとわり同じ場所に停滞し大雨をもたらします。帯の幅は二十〜五十キロメートル、長さは五十〜三百キロメートルに及びます。気象庁気象研究所によると、台風による直接的な大雨を除き、日本で起きた集中豪雨事例の約三分の二で、線状降水帯が発生していたとされています。宮司プレスの既刊号(きかんこう)にも記述(ききじゆつ)したことがあると思いますが、夏

目漱石(なつめ そうせき)さんのお弟子さんで、物理学者の寺田寅彦(てらだ とらひこ)さんは、関東大震災の直後に、「災害は忘れた頃にやってくる」とおっしゃられました。最近(さいじん)は、この言葉の後に「必ずくる」というのを加えて、備えなければならぬと思います。宮司プレス百二十三号に、幕末の儒学者(じゆがくしや)である山田方谷(やまだ ほうこく)さんの「至誠則怛(しせいそくだつ)」という言葉を紹介しました。人には、他の方々の悲しみ苦しみを慮(おもんばか)る、よくよく考える、思いめぐらす、思いやる、誠の心が大事だと説かれたのです。実は、ノーベル賞を受賞された大村智博士も、「至誠則怛」を研究の支えとされていらつしやいました。私共も、被災された方々のことに心を寄せながら「相互扶助(そうごふじよ)相互規制(そうごきせい)」で、「共生社会」をめざしたいものです。さて、宮司プレス百二十五号の発行です。一月に二回発行したのは、これまで、二度ありません。平成二十五年十一月

の八十九号、九十号、さらに、平成二十七年十二月の百九号、百十号です。三回目の一月に二回発行という快挙で、遅れの累積を一つ減らすことが、叶いはしましたが、九ヶ月遅れの宮司プレスの発行です。

◇夏のごあいさつの贈り物をいただいたり、贈ったりする、「お中元」の季節となりました。この「お中元」の由来は、古代中国の道教(どうきょう)で中元(七月十五日)の行事と仏教のお盆の行事が結びつき、受け継がれているものです。私は、「お中元」のお品を頂戴しましたら、お礼状を認(したた)めるよう心掛けています。「水荃(みずくき)の跡(あと)」「筆跡(ひつせき)や手紙(てがみ)のことです」が、麗しくなく、拙(つたな)いのですが、墨書(ぼくしよ)をしています。先月号にも記述しましたが、この折節(おりふし)のしきたりは、「生活の古典」でありますから、大切にしたいものです。

◇唐の国の第二代皇帝である太宗(たいそう)の言行録(げんこうろく)である「貞觀政要(じんくわんせいよう)」には、リーダーは、三つの鏡を持たなければならないと書かれています。それは、「銅の鏡」「歴史の鏡」「人の鏡」なのだそうです。「銅の鏡」は、明るく元気で楽しそうな顔しているかをチェックする鏡、身なりを正すための鏡。

「歴史の鏡」は、過去から学ぶということだ。 「人の鏡」は、厳しく諫(いさ)めてくれる部下を持つということです。 他人からの助言に耳を傾ける謙虚な姿勢でしよう。 亡くなられた渡部昇一先生は、「民主主義には横の民主主義と縦の民主主義がある」と仰られました。 横の民主主義とは、今この社会に生きている我々のことで、太宗のいう「銅の鏡」「人の鏡」にあたるのだと思います。 縦の民主主義は、遠い祖先からの歴史で、「歴史の鏡」です。 社会は、今生きている私たちの判断で物事を決めるのではなく、遠い祖先からの歴史や未来に向けた先見の力も併せ持つ改革をすすめなければならぬというのが、渡部昇一先生の提唱された「横と縦の民主主義」です。

◇まさに、それは、古きをたずねて新しきを知るといふ「温故知新(おんこちしん)」ではないでしょうか。 後醍醐天皇さまは、「みな人の心をみがけ ちはやふる 神の鏡のくもるときなく」といふ御製を残していらつしやいます。 神様の鏡が、くもるときがないように、我々の心の鏡もそうありたいものであると詠まれています。 心の鏡をどぎすまして、三つの鏡を持ちつつ、輝かしい未来であるように、つとめたいものです。 ご自愛ください。

◇六月の祭典行事報告

▼月次祭 *六月一日、十五日

▼海士郷恵比寿神社例祭

*六月十日

▼朝粥会 *六月二十一日

▼大祓式 *六月三十日

▼絵画奉納 *六月吉日



◇六月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◇早起会総会 *六月一日

◇維蘇志会六月例会 *六月六日

◇奉賛会行事委員会茅の輪奉製作業、行事委員会 *六月二十九日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇山口県神社庁神職大会 *六月六日

◇山口県神社庁神道史研究会 *六月六日

◇中国地区女子神職研修会 *六月八日

◇山口県神社庁祭式委員会研修会

*六月十一日

◇山口県神社庁教誨師会 *六月十二日

◇山口県神社庁下関支部幹事会

*六月十三日

◇中国地区氏青神青合同研修会

*六月十七日〜十八日

◇山口県神社庁臨時役員会 *六月二十日

◇山口県神社庁定例協議員会

*六月二十日

◇北九州神職会親睦球技大会

*六月二十二日

◇元山口県神社総代会会長小田明氏叙勲

祝賀会 *六月二十五日

◇巡回社頭講話研修会 於 柳井市

*六月二十八日

▼下関西ロータリークラブ

◇例会 *六月七日

◇理事会 *六月七日

▼その他

◇下関木鶏クラブ例会 *六月一日

◇人権擁護委員人権相談 *六月二日

◇下関市立西山小学校あいさつ運動

*六月九日

◇社会福祉法人松美会評議員会

*六月十四日

◇迫町自治会役員会 *六月二十一日

◇西中国信用金庫総代会 *六月二十三日

◇下関市立玄洋中学校PTA歓迎会

*六月二十三日

◇迫町自治会クリーン作戦 *六月十一日